

作成日 2024 年 3 月 10 日

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

### 課題名：造血器疾患における妊孕性温存に関する観察研究

#### 1. 研究の対象

2000 年 1 月～2025 年 12 月に、筑波大学附属病院血液内科で抗がん剤による化学療法あるいは造血幹細胞移植を受けた 16 歳以上の血液・造血器疾患患者で、妊孕性温存（精子保存、卵子保存、受精卵保存など）を検討され、筑波大学附属病院泌尿器科あるいは産婦人科に紹介された方。

#### 2. 研究期間

研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 5 月 1 日

提供開始(予定)日：提供なし

#### 4. 研究目的

当院で血液の病気に対する治療前に妊孕性温存を検討され、筑波大学附属病院泌尿器科あるいは産婦人科に紹介された方を対象に、臨床情報を用いて解析することで、その実態を明らかにすることを目的とした研究です。

#### 5. 研究方法

疾患背景（疾患名、病期）、患者背景（年齢、性別、既往歴、合併症）、治療内容、妊孕性温存の方法、本人あるいはパートナーの妊娠・出産の有無を診療記録から収集します。

#### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：疾患背景（疾患名、病期）、患者背景（年齢、性別、既往歴、合併症）、治療内容、妊孕性温存の方法、本人あるいはパートナーの妊娠・出産の有無

#### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし。

#### 8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし。

#### 9. 研究組織

本学単独研究。

#### 10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は筑波大学血液内科の運営費交付金です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受け、たうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

### 1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

### 1 2. お問い合わせ先

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学 医学医療系 血液内科 担当：栗田尚樹

住所：茨城県つくば市天王台 1-1-1

連絡先：電話番号（緊急連絡先）：029-853-3127（平日 9～17 時）

当院の研究責任者：筑波大学 医学医療系 血液内科 栗田尚樹